

平成30年12月の観光客の動向

1 概要

平成30年12月における調査対象ホテル・旅館77施設の宿泊客数（宿泊延べ人員）は、合計280,963人で、前年同月比5.6%増となった。このうち外国人は、41,791人で前年同月比16.9%増となった。

平成30年12月における調査対象観光施設・ドライブイン25施設の入場・来場者数（延べ人員）は、合計512,191人で、前年同月比14.2%増となった。

(単位:人、%)

	宿泊客数 入場・来場者数	前年同月比	動向
全体	280,963	+5.6	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに増加。 ・関東、中部、関西からの宿泊客が増加。 ・韓国、香港からの宿泊客が増加。 ・個人客、団体客ともに増加。
外国人客	41,791	+16.9	・韓国はLCCの増便や新規就航などから、前年を大きく上回った。 ・香港はLCCの増便などから、前年を上回った。
主要観光施設 ドライブイン	512,191	+14.2	・大河ドラマ効果や昨年にならば天候も良かったことなどから、前年を大きく上回った。

2 主な地区別の動向

(単位:人、%)

	宿泊客数	前年同月比	動向
鹿児島地区	126,617	+7.9	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに増加。 ・関東、中部からの宿泊客が増加。 ・韓国、香港、台湾からの宿泊客が増加。 ・個人客、団体客ともに増加。
指宿地区	49,347	+9.0	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに増加。 ・関東、関西、中部からの宿泊客が増加。 ・韓国からの宿泊客が増加。 ・個人客、団体客ともに増加。
霧島地区	49,574	+10.1	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに増加。 ・関東、九州からの宿泊客が増加。 ・個人客、団体客ともに増加。
北薩地区	13,225	▲ 0.6	・国内からの宿泊客は減少。海外からの宿泊客は増加。 ・九州からの宿泊客が減少。 ・韓国からの観光客が増加。 ・個人客は増加。団体客は減少。
大隅地区	9,804	▲ 7.7	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに減少。 ・九州、関西、関東からの宿泊客が減少。 ・個人客は減少。団体客は増加。
種子島地区	3,792	▲ 9.5	・国内からの宿泊客は減少。海外からの宿泊客は増加。 ・関東、九州からの宿泊客が減少。 ・個人客、団体客ともに減少。
屋久島地区	5,882	▲ 18.1	・国内からの宿泊客は減少。海外からの宿泊客は増加。 ・関東、関西からの宿泊客が減少。 ・個人客、団体客ともに減少。
奄美地区	20,501	▲ 1.4	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに増加。 ・関西からの宿泊客が増加。九州・中部からの宿泊客は減少。 ・個人客は増加。団体客は減少。
その他地区	2,221	+0.7	・国内からの宿泊客はほぼ横ばい。海外からの宿泊客は増加。 ・関東からの宿泊客が増加したものの、九州からの宿泊客が減少。 ・個人客は減少。団体客は、大会参加が減少したものの、一般団体・企画ツアーが増加し、団体客全体としては増加。

【「宿泊施設」「観光施設・ドライブイン」全体の動向】

宿泊施設と観光施設・ドライブイン 総合

平成30年12月

(単位:人、%)

	対象施設	宿泊者数 入場・来場者数	前年同月	前年比	参考: 29年前年比 (29/28)
主要宿泊施設	77	280,963	265,981	+5.6	▲ 5.0
主要観光施設 ドライブイン	25	512,191	448,407	+14.2	▲ 14.5

【主要宿泊施設の宿泊者】

宿泊客数(延べ人数)

(単位:人、%)

	平成30年12月	前年同月	前年比	参考: 29年前年比 (29/28)
合計	280,963	265,981	+5.6	▲ 5.0
鹿児島地区	126,617	117,392	+7.9	▲ 1.9
指宿地区	49,347	45,253	+9.0	▲ 16.7
霧島地区	49,574	45,044	+10.1	▲ 8.6
北薩地区	13,225	13,311	▲ 0.6	+10.3
大隅地区	9,804	10,619	▲ 7.7	▲ 7.0
種子島地区	3,792	4,188	▲ 9.5	+10.4
屋久島地区	5,882	7,185	▲ 18.1	▲ 6.5
奄美地区	20,501	20,784	▲ 1.4	+11.4
その他	2,221	2,205	+0.7	▲ 20.9

【観光施設・ドライブイン】

入場・来場者数(延べ人数)

(単位:人、%)

	平成30年12月	前年同月	前年比	参考: 29年前年比 (29/28)
合計	512,191	448,407	+14.2	▲ 14.5
観光施設	384,356	322,589	+19.1	▲ 17.6
ドライブイン	127,835	125,818	+1.6	▲ 5.5

【発地別宿泊客数の動向】

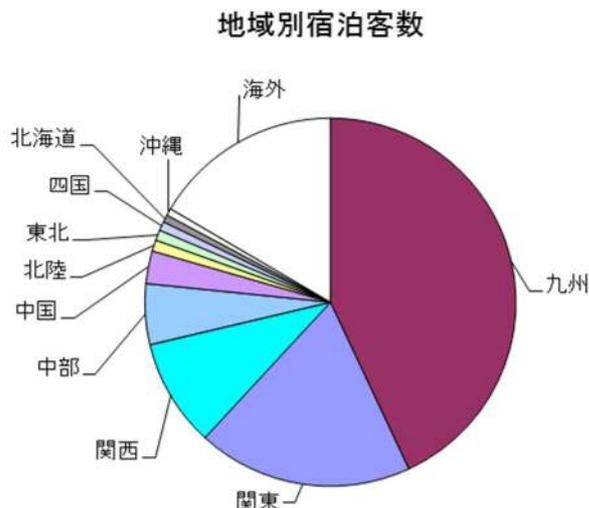
1 地域別

宿泊客数を地域別にみると、九州 108,816 人（構成比 43.0%）が最も多く、次いで関東 47,451 人（同 18.8%）、海外 41,791 人（同 16.5%）の順となっている。

地域別宿泊客数（延べ人数）

（単位：人、%）

	平成30年12月（構成比）	前年同月	前年比
合計	252,786（100.0）	238,269	+6.1
北海道	1,651（0.7）	1,593	+3.6
東北	2,298（0.9）	2,223	+3.4
関東	47,451（18.8）	43,034	+10.3
北陸	2,499（1.0）	2,213	+12.9
中部	13,482（5.3）	10,969	+22.9
関西	23,927（9.5）	22,740	+5.2
中国	7,273（2.9）	6,994	+4.0
四国	2,012（0.8）	1,938	+3.8
九州	108,816（43.0）	109,386	▲ 0.5
沖縄	1,586（0.6）	1,420	+11.7
海外	41,791（16.5）	35,759	+16.9



注：地域別回答があった先の集計のため、宿泊数全体とは一致しない

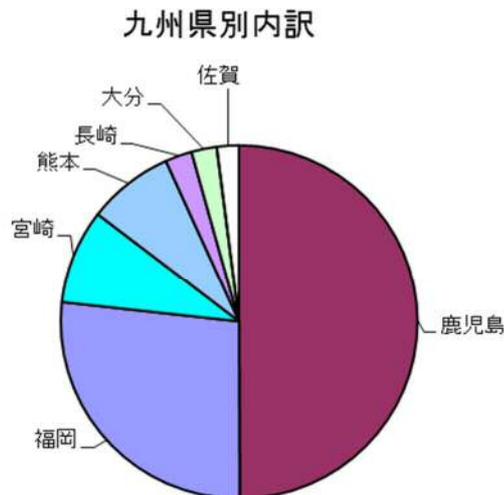
2 九州県別内訳

九州からの宿泊客数を県別にみると、県内 54,344 人（構成比 49.9%）が最も多く、次いで福岡 29,170 人（同 26.8%）、宮崎 9,463 人（同 8.7%）が続いている。

九州県別内訳

（単位：人、%）

	平成30年12月（構成比）	前年同月	前年比
合計	108,816（100.0）	109,386	▲ 0.5
福岡	29,170（26.8）	25,933	+12.5
佐賀	2,192（2.0）	2,034	+7.8
長崎	2,647（2.4）	2,211	+19.7
熊本	8,510（7.8）	8,227	+3.4
大分	2,490（2.3）	2,350	+6.0
宮崎	9,463（8.7）	10,545	▲ 10.3
鹿児島	54,344（49.9）	58,086	▲ 6.4



注：地域別回答があった先の集計のため、宿泊数全体とは一致しない

3 国・地域別内訳

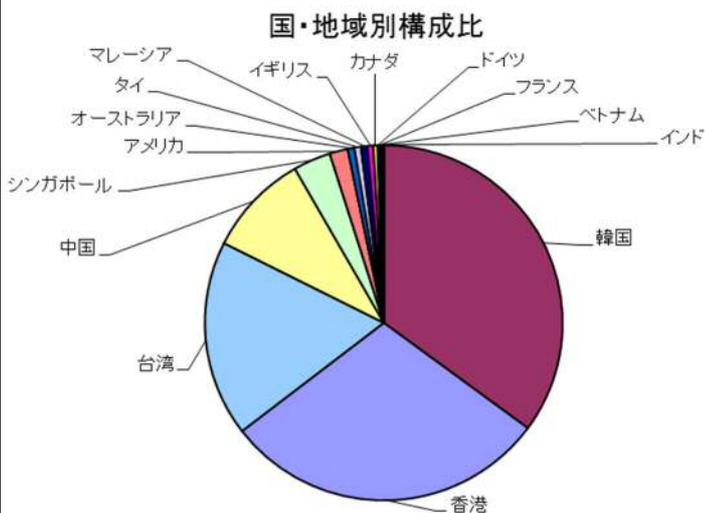
海外からの宿泊客のうち、アジア地域別にみると、韓国 14,192 人（構成比 34.0%）が最も多く、香港 11,913 人（同 28.6%）、台湾 7,215 人（同 17.3%）、中国 3,768 人（同 9.0%）、シンガポール 1,372 人（同 3.3%）などの順となっている。韓国は、LCC の増便や新規就航などから、前年を大きく上回った。香港は、LCC の増便などから、前年を上回った。

また、アジア以外の地域は、アメリカ 664 人（同 1.6%）、オーストラリア 247 人（同 0.6%）、イギリス 212 人（同 0.5%）などとなった。

国・地域別内訳

（単位：人、%）

	平成30年12月（構成比）	前年同月	前年比
合計	41,691（100.0）	35,655	+16.9
韓国	14,192（34.0）	9,680	+46.6
香港	11,913（28.6）	10,809	+10.2
台湾	7,215（17.3）	7,107	+1.5
中国	3,768（9.0）	3,413	+10.4
シンガポール	1,372（3.3）	1,469	▲ 6.6
アメリカ	664（1.6）	496	+33.9
オーストラリア	247（0.6）	262	▲ 5.7
タイ	238（0.6）	442	▲ 46.2
マレーシア	233（0.6）	185	+25.9
イギリス	212（0.5）	186	+14.0
カナダ	155（0.4）	133	+16.5
ドイツ	93（0.2）	70	+32.9
フランス	57（0.1）	75	▲ 24.0
ベトナム	40（0.1）	1	+3,900.0
インド	35（0.1）	17	+105.9
その他	1,257（3.0）	1,310	▲ 4.0



注：国・地域別回答があった先の集計のため、地域別宿泊客数とは一致しない

【形態別宿泊客数の動向】

宿泊客を形態別にみると、個人客（含む家族・小グループ）が 161,701 人（構成比 76.3%）、団体客（15名以上）は 50,212 人（同 23.7%）となった。

形態別宿泊客数

（単位：人、%）

	平成30年12月（構成比）	前年同月	前年比
合計	211,913（100.0）	196,735	+7.7
個人客（含む家族・小グループ）	161,701（76.3）	152,015	+6.4
団体客（15名以上）	50,212（23.7）	44,720	+12.3
内 団体小計	50,212（100.0）	44,720	+12.3
内 一般団体・企画商品	41,384（82.4）	37,526	+10.3
内 大会	4,122（8.2）	3,229	+27.7
内 修学旅行	4,706（9.4）	3,965	+18.7

注：回答のあった先のみの集計のため、全体合計とは一致しない

【 宿泊単価・売上金額・購入単価の動向 】

1 宿泊単価

宿泊単価のうち、客室単価は、前年同月と比較して「高い」と答えた施設は 35.4%、「前年並み」と答えた施設は 60.0%、「低い」と答えた施設は 4.6%となった。

付帯消費額については、前年同月比で「高い」は 14.1%、「前年並み」が 75.0%、「低い」が 10.9%となった。

宿泊単価

平成30年12月 (単位:%)

	客室単価	付帯消費額
合 計	100.0	100.0
高 い	35.4	14.1
前年並み	60.0	75.0
低 い	4.6	10.9

2 売店の売上金額・購入単価

観光施設・ドライブインの売店の売上金額については、前年同月と比較して「増加」と答えた施設は 42.1%、「前年並み」は 31.6%、「減少」は 26.3%となった。

また、1人当たりの購入単価については、前年同月比で「増加」と答えた施設は 15.8%、「前年並み」は 52.6%、「減少」は 31.6%となった。

売上金額・購入単価

平成30年12月 (単位:%)

	売上金額	購入単価
合 計	100.0	100.0
増 加	42.1	15.8
前年並み	31.6	52.6
減 少	26.3	31.6

調査の概要

本県の最新の観光客の動向を定期的に把握し、本県観光の誘致対策等に役立てるとともに、観光関係者のビジネスや効果的な事業展開などにも広く活用していただくため、県内主要宿泊施設、観光施設等への宿泊・入り込み状況について、アンケート調査を実施いたしました。

・調査期間 平成 30 年 12 月 1 日～12 月 31 日

・調査項目

ホテル・旅館	<ul style="list-style-type: none"> ① ホテル・旅館の全宿泊者数（延べ人数） ② 方面別宿泊者数（国内地域、海外） ③ 海外宿泊者数（国・地域別内訳） ④ 宿泊単価（客室単価、付帯消費額） 対前年比「高い」、「昨年並み」、「低い」から選択
観光施設・ ドライブイン	<ul style="list-style-type: none"> ① 入場者来場者数 ② 売店売上金額（対前年比「増加」、「昨年並み」、「減少」から選択） ③ 一人当たり購入金額（対前年比「上昇」、「昨年並み」、「下落」から選択）

・調査対象

(1) ホテル・旅館	77 施設	鹿児島地区	18
		指宿地区	12
		霧島地区	10
		種子島地区	6
		屋久島地区	4
		奄美地区	10
		大隅地区	7
		北薩地区	6
		その他地区	4
(2) 観光施設	20 施設		
(3) ドライブイン	5 施設		